

【評価実施概要】

事業所番号	171000565		
法人名	医療法人豊生会		
事業所名	グループホームすぎの子の郷		
所在地	石狩郡当別町春日町97-1 (電話) 0133-25-2801		
評価機関名	NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 秋山愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成19年12月17日	評価確定日	平成20年2月29日

【情報提供票より】(H19年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	7 人, 非常勤 3 人, 常勤換算3 人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2 階建ての	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	有(135,000 円)	光熱費 18,000円	暖房費 3,000円(冬期)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	50 円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要 (12月 17日 現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護 1	1	要介護 2	2			
要介護 3	5	要介護 4	0			
要介護 5	1	要支援 2	0			
年齢	平均	79,6 歳	最低	60 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東苗穂病院、とうべつ整形外科、北海道医療大学歯科内科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街の住宅街に位置する2階立ての建物で、1階は通所介護、訪問介護系施設、2階がグループホームの多機能密着型の施設である。日当たりが良く居間、廊下、浴室などの共用部分は広く、ゆとりがある。職員の利用者への対応はゆったりして穏やかであり、利用者はとても居心地よさそうである。運営母体が医療法人であることから迅速な医療対応が可能であり、階下の介護施設との連携もよく多様な医療サービスが受けられている。運営体制面では職員の研修体制を充実し、サービスの質の向上を目指そうとする意欲が感じられる。家族との交流や地域との連携を図るなど、運営理念の実現に向けて日々取り組んでいるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) (要改善事項)介護計画は、利用者の状態変化により見直しをすることになっているが不十分である。 : 毎月カンファレンスを実施し見直しをしている。利用者に変化が生じた場合は家族や利用者話し合い現状に即した計画作成を行っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員は、自己評価・外部評価の意義を十分に理解しており、前回の外部評価の結果を踏まえて間をおかず改善に取り組んでいる。今回の自己評価も職員全員で取り組んでおり、常にサービスの質に向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は定期的開催している。会議では、ホームの活動報告、利用者の状況、運営上の課題や今後の取り組みなどについて意見交換されている。主として施設の改善、地域との交流(地域イベントへの参加、清掃活動、廃品活動等への参加)することにより、ホームの理解につなげている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の意見、苦情はできるだけ聞くような機会を設けている。これらの意見・苦情は、職員会議や運営推進会議で話し合い運営に反映されるようになっているが、さらに家族会の結成が望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入。町内会が行うお祭りや清掃活動等に会員として利用者と一緒に参加している。また町内の文化祭には、絵画・書の展示やカラオケの発表にも参加するなど積極的に地域住民との交流に努めている。

評価結果 (詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で一人ひとりの生活を大切にして、ゆったり・豊かに生活ができるような環境をつくり、家族のような関係のサービスを提供するというを理念とし、その理念に根ざしたケアに全職員で取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	室内に理念を掲示してある。また、職員は理念をネームカードと共に携帯し、常に理念を確認しながら、その実践に向けて日々の業務に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の町内会に加入。町内会が行うお祭りや清掃活動等利用者と一緒に参加している。また町内の文化祭には絵画、書の展示やカラオケの発表にも参加するなど地域住民との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員は、自己評価・外部評価の意義を十分に理解している。前回の外部評価の結果を踏まえ間をおかず改善に取り組んでいる。今回の自己評価も職員全員で取り組んでおり、常にサービスの質の向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的で開催している。会議では、ホームの活動報告、利用者の状況、運営上の課題や今後の取り組み等について意見交換され、これらの意見は記録され、施設面の改善や地域交流の実現などのサービスの向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町関係の研修会等には積極的に参加している。また、町が主催する介護関係事業等を積極的に受託するなど、常に密接な関係づくりに努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時やホーム情報誌「郷だより」を活用して、利用者の暮らしぶりや健康状態等を写真も貼り詳しく伝えている。金銭関係については、毎月出納帳、領収書を添付して送付、または訪問時に見せ、確認印をもらっている。</p>		<p>家族等の意見・苦情等を管理者、職員並びに外部者へ表せる機会・機能としての家族会が誕生することを望みたい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱の設置がある。家族の来訪時にも家族から意見、苦情等を聞いている。これらの意見・要望は、職員会議、運営推進会議で話し合い、運営に反映されるようになっているが、家族会はまだ結成されていない。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内異動はほとんどなく、利用者と顔馴染みであるが、新しい職員が入った場合には、利用者に紹介し、利用者からホームのことを教えてもらうような配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、それぞれの職務に応じた研修希望を聞き研修計画を立て、職員の専門性の育成に取り組んでいる。研修終了後は職員会議等で全職員に報告することになっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入し、互いに交流する機会をもち、サービスの質の向上に取り組んでいる。(施設見学会、研修会等)</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がホームの雰囲気に馴染めるよう事前に見学や一緒に遊びにも参加するなどして、家族と相談しながら安心感をもってもらうよう段階的な工夫をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、常に利用者の立場に立ったケアに心がけ、人生の先輩から学ぼうという姿勢が見られ、共感しあえる関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は、個々の思いや意向を、本人や家族を通じて十分に把握している。把握困難な場合は、家族や関係者間で情報交換して本人の視点に立って検討している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意見・要望等を取り入れ職員、ケアマネージャと十分協議を重ね、心身の状況、生活能力を考慮し、さらに本人・家族の意向を確かめた上で介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月カンファレンスを実施し、見直しを行っている。利用者の日々の詳細な記録があり、変化が生じた場合は話し合い、対応できるように現状に即した計画作成を行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人家族の状況に応じて通院介助等の支援を行っている。要望があれば家族等も宿泊できるよう柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の受診は通院支援している。定期的に歯科の訪問診療があり、必要に応じて専門科など、いつでも適切な医療を受けられる体制になっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合における対応の指針を作成し、その対応について家族や関係者に説明、話し合いをしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけや対応は利用者の尊厳を重んじ、丁寧に対応している。記録等の取り扱いも慎重である。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は、利用者のその日に望んでいることを把握している。買い物、散歩、調理の手伝い等それぞれの希望にそって支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みに配慮した献立をたて、調理の下ごしらえや盛り付け、片付け等は利用者と職員が一緒に行い、食事も同じテーブルで楽しい雰囲気です。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴予定日であるが、利用者の希望により、いつでも入浴を楽しむ支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、調理の支度など個々の利用者が役割を見出して力が発揮できるような場や機会をつくり支援している。またホーム内での合唱、麻雀、習字などの楽しみごとや気晴らしの支援も積極的に行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の散歩、買い物、ドライブなど積極的に戸外に出る機会をつくり支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜勤者勤務の時間内は施錠している。日中は開放し、安全面に配慮して見守り支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	マニュアル、連絡網を作成し、毎年2回避難訓練を実施している。災害時の避難場所も確保している。地域の協力依頼も運営推進会議を通じて町内会等に依頼している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	管理栄養士に相談、助言を得て献立を作成出来る体制にある。利用者の希望も取り入れ、カロリーバランスを考慮し変更することもある。個々の食事、水分摂取量をチェックして支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関、廊下には季節感のある絵画が飾られている。居間は明るく広く、笑顔のスタッフや利用者の写真もあり、ソファが置かれ自由に寛ぐことができる。台所は対面式で安全を考慮した電磁コンロを設置している。建物の採光、換気、臭気、温度は職員の配慮により適切に処遇されており、居心地が良い。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、本人の好みに合わせ、家族の写真や俳句等が飾られており、使い慣れた家具が置かれている。収納スペースがあるところから整頓されており、心地よく過ごせるように工夫配慮されている。		

 は、重点項目。